



株主・投資家の皆様へ 株主通信 TEMP REPORT

2015年3月期通期のご報告
2014年4月1日～2015年3月31日

テンプホールディングス
(証券コード：2181)

株式に関するお手続きについて

証券会社などの口座に記録された株式

■お手続き、ご照会などの内容

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

■お問合せ先

株主名簿
管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

- 住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会

口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

特別口座に記録された株式

■お手続き、ご照会などの内容

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 住所・氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定(*)

■お問合せ先

特別口座
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

[手続き書類のご請求方法]

- 音声自動応答電話によるご請求 ▶ 0120-244-479 (通話料無料)
- インターネットによるダウンロード ▶ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

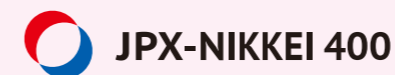
(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

インターネット

個人投資家の皆様へ TEMP NAVI

<http://www.temp-holdings.co.jp/individual/>

テンプグループが手がけている事業や業績など、さまざまな情報を分かりやすくまとめて公開しています。
ぜひご覧ください。



2014年8月:JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました。

JPX日経400とは?

日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。

テンプホールディングス

東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインズタワー TEL 03-3375-2220 (代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。

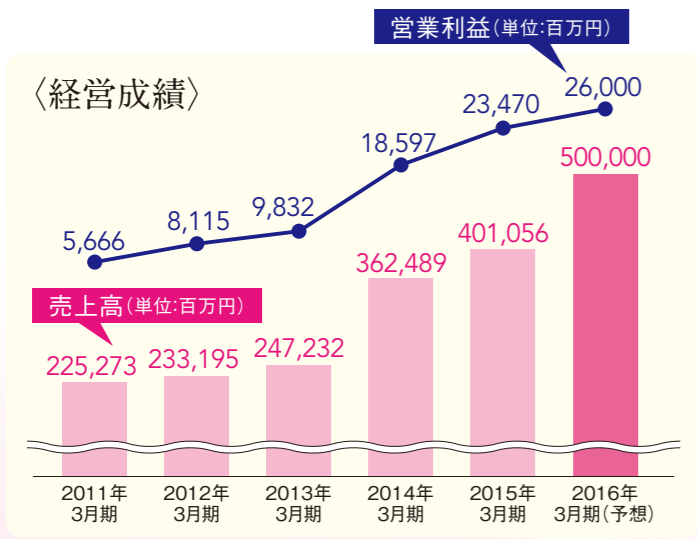


この印刷物は「FSC® 認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。

業績ハイライト 2015年3月期連結業績

好調な需要を背景に、
三期連続の過去最高実績

売上高 4,010億円 前年比 10.6%増	営業利益 234億円 前年比 26.2%増
当期純利益 134億円 前年比 36.2%増	1株当たり期末配当金 18円(年間32円)



代表取締役社長 水田 正道
 1988年テンプスタッフ入社。1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。2013年代表取締役社長就任。日本人材派遣協会会長、人材派遣健康保険組合理事を歴任。座右の銘は積小為大。

情報力と人間力で、 人材サービスのこれからへ。

はたらく歓びを、いっしょにつくる。テンプグループ

日本経済の好況を追い風に企業の人材需要は引き続き旺盛です。2015年3月期のテンプグループは各セグメントとも堅調に事業を展開。売上高4,010億円、営業利益234億円となり、ホールディングス設立以来最高の売上高・利益を達成しました。

仕事を求める人々と、人を求める企業。その膨大な情報を操り、双方の望みに適うマッチングを提供する人材サービスにとって、情報は競争力の源泉です。情報の多く集まるところに人が集まり、人の集まるところに情報が集まるのです。私たちが「情報力」を最大化していくための、カギは2つあります。1つは情報を増やすための「規模」。もう1つは情報を活かすための「IT」です。私たちは成長戦略の一環として、M&Aによる規模の追求とIT投資を積極的に推進します。

しかしどんなにITの重要性が増しても、テンプグループの強みが「人間力」であることは今後変わりません。求職者一人ひとりの気持ちに寄り添い、気持ちで応える姿勢を、これからも大切にしていきたいです。

テンプグループが目指すのは、「はたらくこと、雇用のことなら何でも解決してくれる」と社会の皆さまに認知されるような「社会的なインフラとしての人材サービス企業」です。

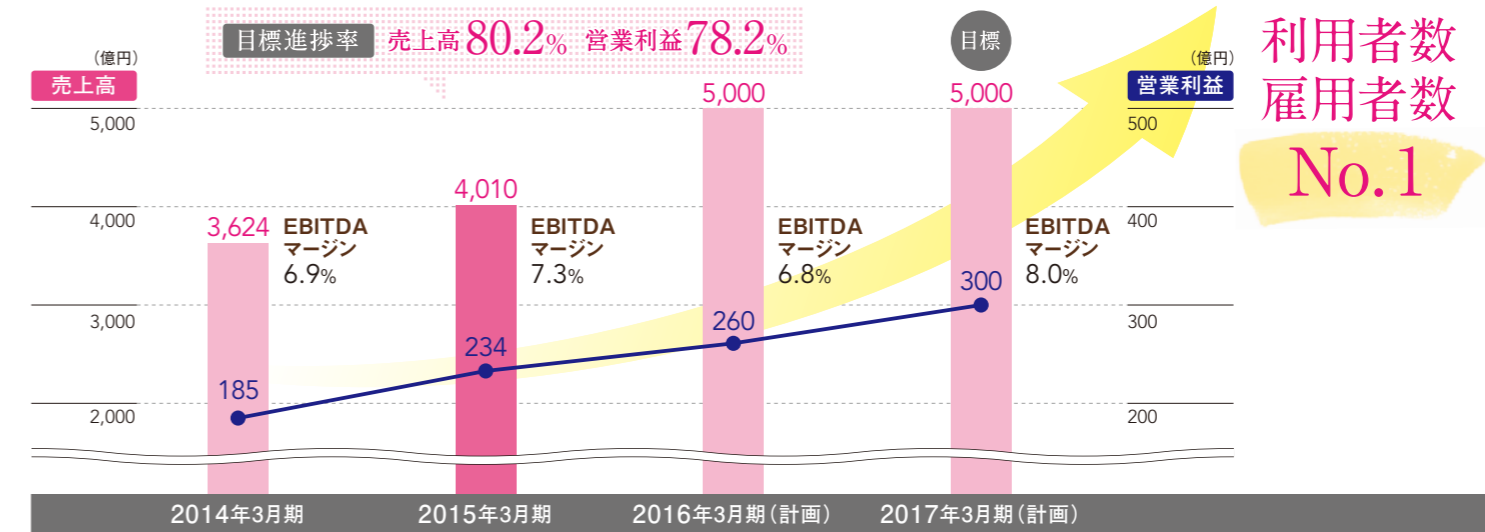
その実現に向けて、私たちは健全な成長路線を邁進していきます。その先に「アジアNo.1」という大きな夢を見据えて……。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



前進！中期経営計画

利用者数
雇用者数
No.1

中期経営計画と達成状況



Phase 1 経営基盤の強化・確立

- ・経営効率を高めるセグメント体制の最適化
- ・間接部門の融合・強化によるガバナンス再構築

Phase 2 成長を志向する経営へ

- ・派遣領域への投資と生産性向上による雇用者数拡大
- ・リクルーティングセグメントの利用者数拡大
- ・アウトソーシングサービスのソリューション強化
- ・グループシナジーの創出

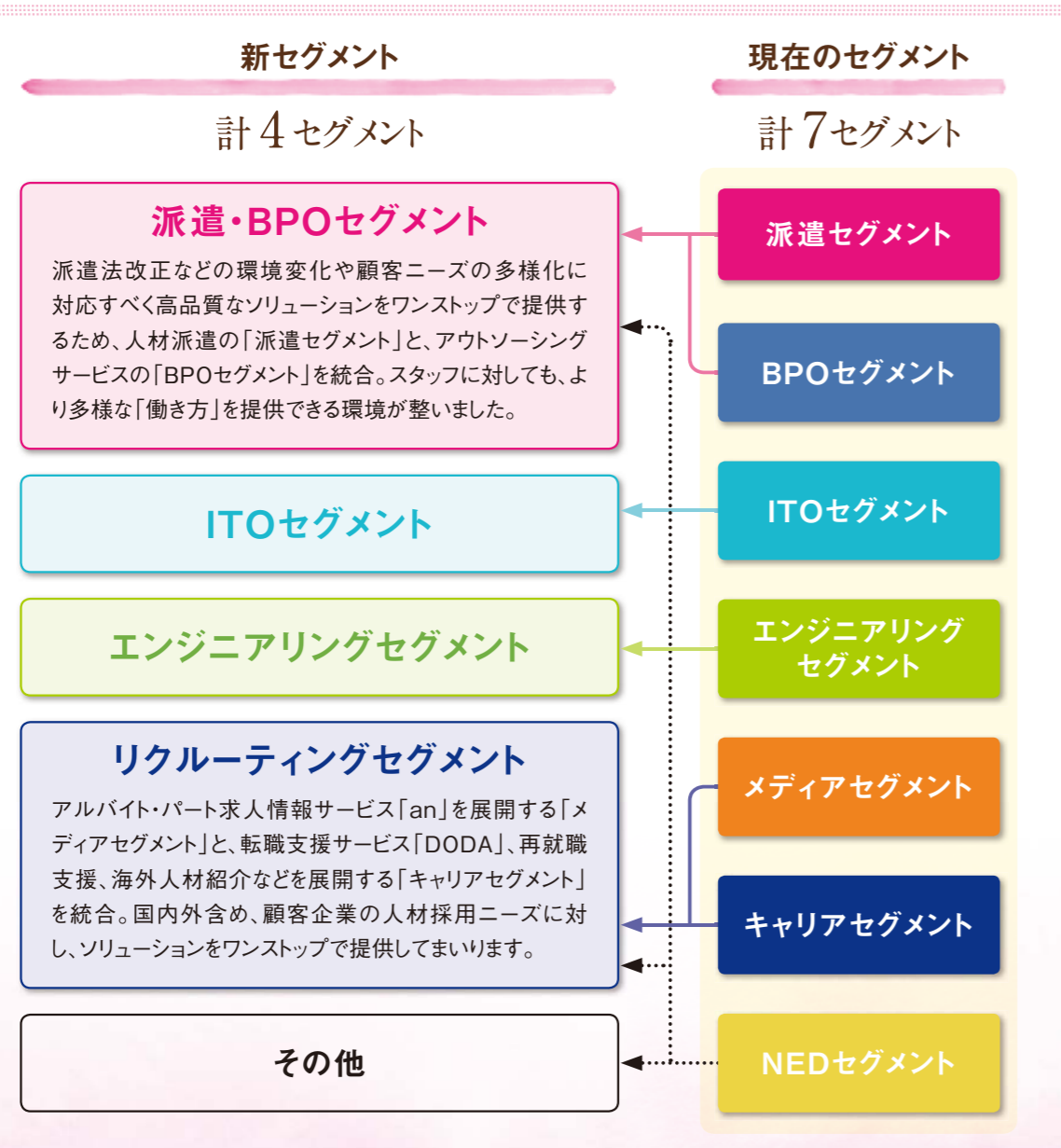
中期経営計画の1年目となる今期はまず「セグメント体制の最適化」へ向けて7セグメント体制への移行を実行しました。また「派遣領域への投資」として、関西地域に強固な営業基盤をもつ「パナソニック エクセルスタッフ」を子会社化したほか、「キャリアライズ」の子会社化なども実現。営業基盤を拡大しています。さらに「リクルーティングセグメントの利用者数拡大」に向けて、LINE社との合併会社「AUBE」を設立。「LINEバイト」を開始したほか、ベネッセ社とキャリア教育支援の合併会社を設立することで合意に至っています。

既存事業でも確かな成長が見られた結果、2015年3月期は、計画を大きく上回る順調な滑り出しとなりました。

2016年3月期は「成長へのステップ」の1年と位置づけ先行投資を重視。IT投資や事業投資を積極的に展開します。また「セグメント体制の最適化」をさらに進め、4セグメント体制へ移行。シェアードセンターの設立により「間接部門の融合・強化」も進めます。

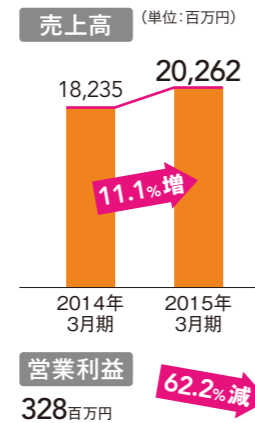
事業価値最大化を目指して セグメント経営本格化！

意思決定の迅速化と組織運営の効率化を目的にマネジメントラインを再定義。各セグメント長へ大幅に権限を移譲し、より現場に根ざした組織運営を行うことで、顧客のニーズに寄り添う満足度の高いサービスの実現を目指してまいります。



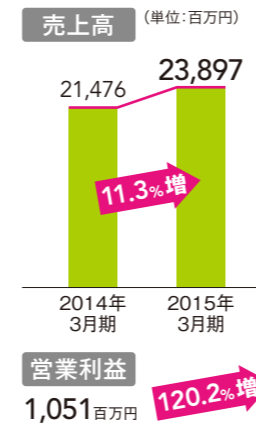
メディアセグメント

アルバイト・パート採用ニーズが高水準で推移したことを受け、売上高は伸長しました。利益面においては、「an」ブランドの商品力強化と認知度向上を目的としたWeb投資や、広範囲な紙媒体のエリア展開等、様々な差別化投資を実施した結果、営業利益は328百万円となりました。



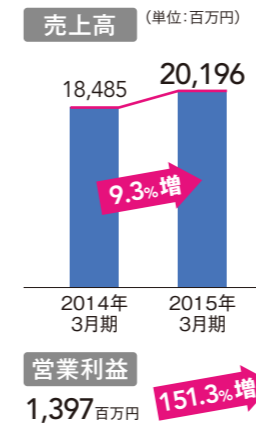
エンジニアリングセグメント

主要顧客である自動車・電機業界等の開発需要の高まりを受け、設計・実験、制御システム関連の技術者を中心に旺盛な需要が寄せられました。新卒採用の技術者の配属が順調に進み全体の稼働率が高水準で推移したこと、需要増に伴い受託業務が増加したことなどにより、増収増益を達成しました。



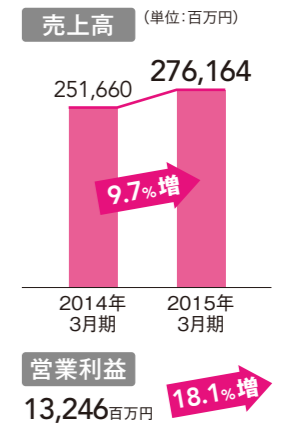
BPOセグメント

企業活動の活発化に伴い、引き合いは増加傾向で推移しました。大型プロジェクトの受託もあり、売上高は順調に伸長しました。また、利益面でもこれまでの受託案件で蓄積された生産性向上ノウハウの共有化と、案件単位での収益性改善に努めた結果、増益を達成しました。



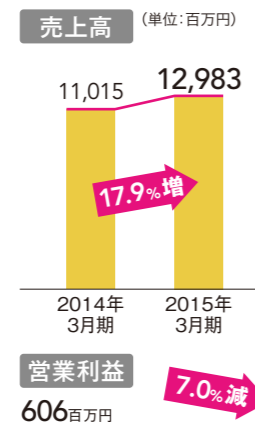
派遣セグメント

景気拡大を背景に派遣需要は期を通じて増加傾向で推移しました。需要増に対する派遣労働者の募集活動やお仕事掲載サイトの集客強化等が奏功しました。パナソニック エクセルスタッフ(株)がグループ入りし、来期は更なるプレゼンス向上を目指します。



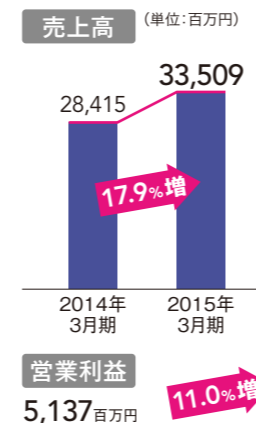
NEDセグメント

新卒採用者向け人材紹介、障がい者就業支援、海外留学支援、保育人材サービス及び保育所運営など、当セグメントで扱う各々の事業が伸長した結果、売上高は順調に推移しました。利益面は、将来の成長へ向けた人員増強等の投資を実施した結果、営業利益は606百万円となりました。



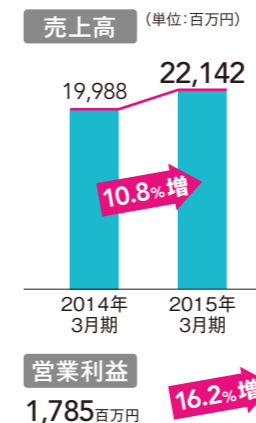
キャリアセグメント

企業活動の活発化に伴い、旺盛な人材採用需要を受け、売上高は伸長しました。利益面は、「DODA」のブランド力強化を狙ったテレビコマーシャル等の広告投資、また、マッチング体制の強化を目指したコンサルタント等の人員増強を実施した結果、営業利益は5,137百万円となりました。



ITOセグメント

顧客企業におけるシステム関連投資の増加により、SI関連サービス、ICTアウトソーシングに対する引き合いが増加したことを受けて、売上高は順調に伸長しました。利益面でも、コンサルティングサービスや技術水準の高い案件の増加により、受託単価が上昇した結果、増益を達成しました。



パナソニック エクセルスタッフ株式会社の株式を取得。連結子会社に。

2015年3月、関西地域を中心に大きな存在感を誇る「パナソニック エクセルスタッフ」がグループ入りしました。同社とテンプレグループのサービスとノウハウを結集することで、地域戦略の強化を図り、地域に密着した企業・求職者への提案力を向上していきます。

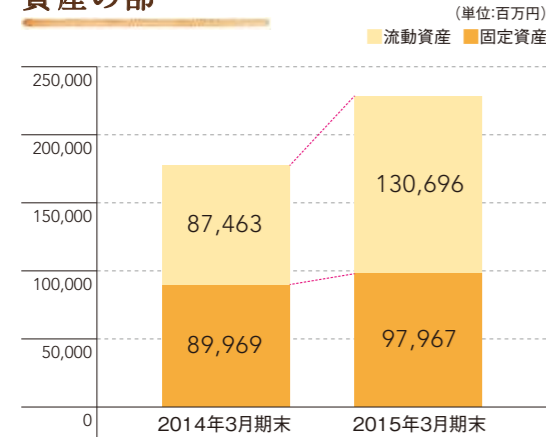
LINE社との共同出資により株式会社AUBE設立。「LINEバイト」をスタート。

2015年2月にLINE株式会社との合弁事業として、「LINE」アプリ上で利用可能なアルバイト求人情報サービス「LINEバイト」を開始いたしました。競合他社との競争が激化している中、個人ユーザーとの接点を拡大することで、引き続き商品価値の向上に努めてまいります。

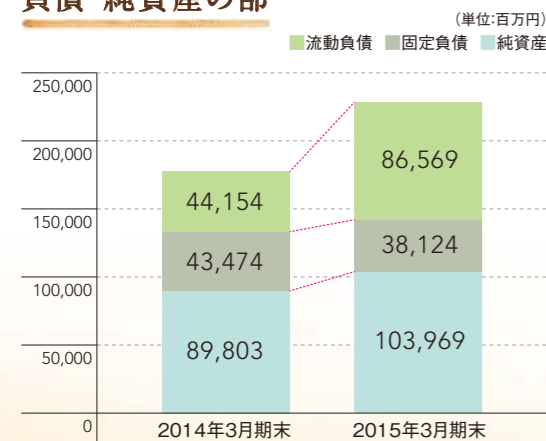
インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。
 テンプホールディングス ホームページ ▶ <http://www.temp-holdings.co.jp/>

貸借対照表

資産の部



負債・純資産の部



POINT 1
現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加

POINT 2
M&Aによる増加

POINT 3
未払消費税等、M&Aによる短期借入金の増加

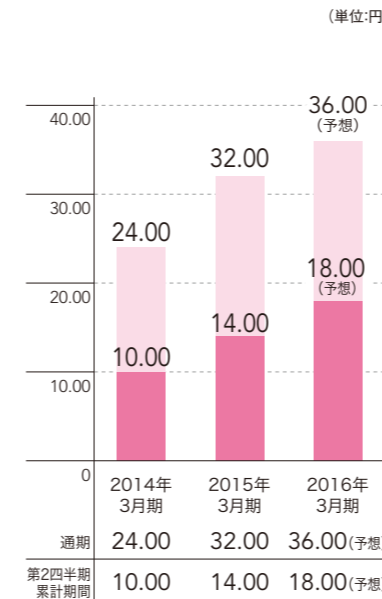
POINT 4
当期純利益の増加

	2014年3月期末	2015年3月期末	増減額
資産	177,433	228,663	51,230
① 流動資産	87,463	130,696	43,232
現金及び預金	36,292	60,645	24,352
固定資産	89,969	97,967	7,997
商標権	11,660	11,061	△598
② のれん	57,089	66,023	8,934
負債	87,629	124,694	37,064
③ 流動負債	44,154	86,569	42,415
固定負債	43,474	38,124	△5,350
転換社債型 新株予約権付社債	15,000	14,798	△202
長期借入金	18,560	13,920	△4,640
純資産	89,803	103,969	14,165
自己資本	86,973	98,562	11,588
資本金	9,980	10,081	101
資本剰余金	13,572	13,673	101
④ 利益剰余金	62,140	73,499	11,359
少数株主持分	2,829	5,406	2,576

【ご参考】 テンプグループでは、2011年3月期より「包括利益の表示に関する会計基準」を適用しております。「包括利益」とは、資産と負債を時価評価して、その損益を当期純利益に加えたものです。

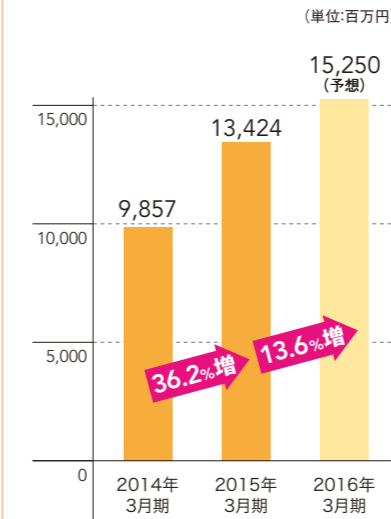
包括利益	2014年3月期	2015年3月期
	10,543百万円	13,508百万円

1株当たり配当金



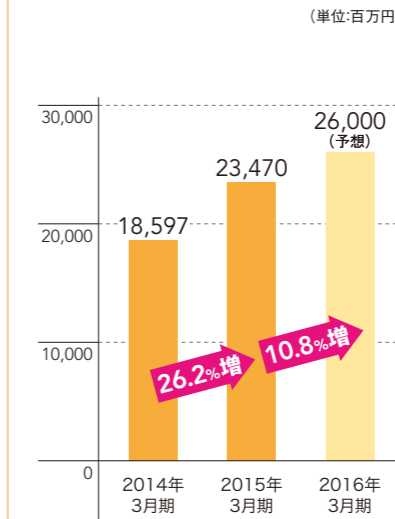
2015年3月期の1株当たり期末配当金は14円を予定しておりましたが、業績動向や財政状態等を総合的に勘案し、1株当たり4円増配し、18円といたします。この結果、2015年3月期の年間配当は、既に行っており中間配当14円とあわせて、1株当たり32円となります。

当期純利益



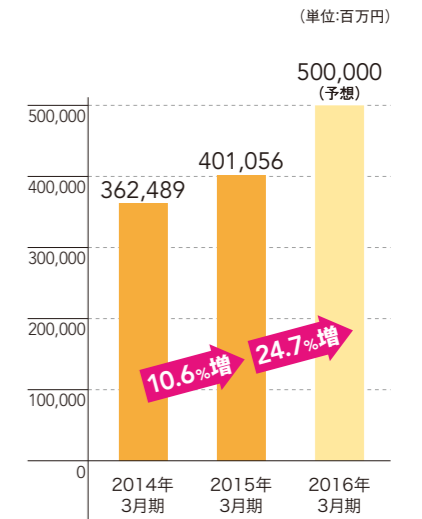
アジア地域におけるグループ内組織再編に伴うのれん償却の影響がりましたが、最終利益においても大幅に伸長し、当期純利益は134億円(前年比36.2%増)となりました。

営業利益



各セグメントで売上高が大きく増収した結果、営業利益は234億円(前年比26.2%増)となりました。また、利益率の高いキャリアの業績拡大や、ITO、BPOなどのセグメントにおいて利益率の改善が進んだ結果、売上高営業利益率は5.9%と前年同期より0.8ポイント改善しました。

売上高

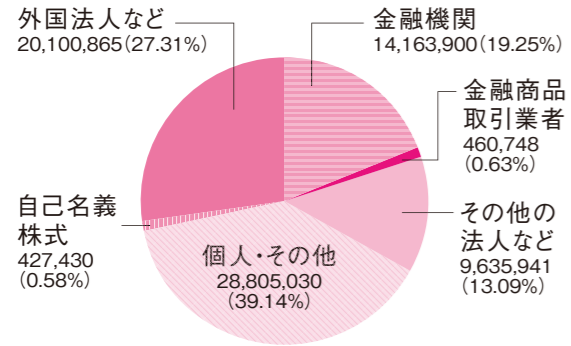


企業収益の改善に伴う業務繁忙や採用の活発化等により、雇用関連指標が軒並み改善傾向で進み、人材派遣・人材紹介をはじめ各種人材サービスに対し需要が強く寄せられました。こうした中、サービスラインナップ拡充や運営体制の変更、グループ協業強化等に取り組んだ結果、2015年3月期の売上高は、4,010億円(前年比10.6%増)となり、前期に引き続き二桁成長となりました。

インフォメーション

株式所有者別分布状況 (2015年3月31日現在)

単位:株



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) URL http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.temp-holdings.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

株式の状況 (2015年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 73,593,914株
- 株主数 6,930名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
篠原欣子	19,277,200	26.35
一般財団法人 篠原欣子記念財団	4,100,000	5.60
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,894,500	5.32
ケリーサービスジャパン 株式会社	3,035,600	4.15
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,857,100	2.53
彌富よしみ	1,812,800	2.47
BNYM TREATY DTT 15	1,327,686	1.81
MSIP CLIENT SECURITIES	1,265,919	1.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,232,000	1.68
ウーマンスタッフ有限会社	1,206,000	1.64

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株式数(73,166,484株)を基準に算出しております。

会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名	テンプホールディングス株式会社 Temp Holdings Co., Ltd.
設立	2008年(平成20年)10月1日
本社	東京都渋谷区代々木2-1-1
事業内容	労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
資本金	100億8,164万円

役員一覧 (2015年3月31日現在)

取締役会長	しのはら よしこ 篠原 欣子
取締役副会長	ひびの みきひこ 日比野 三吉彦
代表取締役社長	みずた まさみち 水田 正道
取締役副社長	たかはし ひろとし 高橋 広敏
取締役	わだ たかお 和田 孝雄
取締役	カール ティー カムデン Carl T. Camden
常勤監査役	しまぎき ひろし 嶋崎 広司
監査役	あらい かおる 荒井 薫
監査役	たまこし りょうすけ 玉越 良介
監査役	しんどう なおしげ 進藤 直滋

テンプグループのCSR活動

グローバル人材育成のために

2014年11月30日、東京日本橋にて テンプグループ・チャレンジウーマン・スカラシップ成果発表会を開催。

2014年7~8月の2か月間、英語学習とフィールドワークを行った6名のスカラ生が英語によるプレゼンテーションを実施したほか、1991年の第1回合格者から、昨年の第21回合格者までのOB・OGや関係者など参加者35名による懇親会も実施しました。2015年のスカラ生も既に決定し、渡航に向けた準備を進めています。



障がい者のために

障がい者が活躍できる社会の実現を願って、
さまざまな就労支援などを行っています。

特例子会社・サンクステンプ(株)では、事務支援サービス、障がい者就労支援セミナーの実施等、多様な業務を受託しています。また障がい者就労支援を行う(株)フロンティアチャレンジでは、2008年から「チャレンジドアスリートサポート」制度により、グループ内で働く障がい者アスリートの仕事と競技活動の両立を資金面や就業条件面からサポートしています。

女性のために

女性の活躍をいっそう支援していくために、
「ダイバーシティ営業部」を設置しました。

ダイバーシティ営業部は、時間に制約を持つ女性社員で構成される営業部。時間に左右されない新しい働き方を模索し、実現していくことで、より多様な人材が活躍し、はたらくことを楽しむことができる環境づくりを実現してまいります。まずは首都圏のテンプスタッフ(株)3オフィスから開始し、今後、地域展開を図ります。

テンプグループは、人材ビジネスを通じて、CSR(企業の社会的責任)を実践する一方で、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。